

平成24年度事業報告書（案）

（平成24年4月1日から平成25年3月31日）

I. 事業報告

1. コンピュータシステム販売に関する調査研究（旧定款第4条第1号関係）

（継1）平成24年度コンピュータシステムの流通等調査研究

（市場部会 サポートサービス委員会）

担当：市場部会（大塚裕司部会長）、サポートサービス委員会（平野一雄委員長）

内容：タブレット端末、スマートフォン等がビジネスの世界にも浸透してきている。また、クラウドなど、リモートからアクセスできる環境もセキュリティ面の強化等で普及してくると考えられる。さらに、最近ではBYOD（Bring Your Own Device）など、自分の端末を会社用にも使用できるような環境も整いつつある。これらの環境の劇的な変化に、企業はどう対応しようとしているのか、モバイル端末のビジネスへの使用と、それによるビジネス形態の変化は、どのような形で現れようとしているのか。実態を調査することにより、我々のビジネスへの影響や対応策へのヒントを得る。

これらの企業の意識や将来計画等の調査・分析を通して、中堅・中小企業の意識の変化を捉え、これを広くホームページ等で公表し、今後の事業戦略等に活用してもらう。

その活用に必要な対策を分析・検討し結果を提示していくことで、中堅・中小企業の事業活動の効率化の重要性を認識して頂き、更に、対応策検討への支援等を通じて、業界の活性化に貢献する。

本調査研究事業は、この中堅・中小企業におけるIT依存度や、IT運用の実態などを把握・研究し、以下の目的で中堅・中小企業やIT事業者に貢献する為に、調査研究報告書としてまとめ、これまで提供してきている。

- ・今後の更なるIT設備増強への参考と啓発に繋がる情報の提供。
- ・主に中堅・中小企業に、ITの理解と認知度を高めるための解説書の提供。
- ・求められるITサービスの本質は何かを見極め、産業界の安全・安心のIT化の推進に寄与するとともに、顧客視点に立ったIT事業者のサポートサービスの品質向上。

昨年度はWeb調査を主体とした調査を行い、補完として面接調査も実施した。具体的には、以下のような項目について調査を行った。

- ① モバイル端末・シンクライアントの普及はどの程度進んでいるのか、また将来計画はどうか
- ② あわせて、リモートアクセスの環境はどうか
- ③ 設備、セキュリティー面での不安はどの程度か
- ④ BYODへの対応は
- ⑤ クラウドの利用はどの程度考えているか
- ⑥ この時代のサポートサービスはどのようになってくるか

調査の手順としては

- ① 全国中堅・中小企業へのWeb形式アンケートおよびヒアリングによる現状調査の実施
- ② アンケート調査項目の分析と報告書の作成。
- ③ Web調査の結果を踏まえ、新たな環境変化に関連する分かりやすい解説書の作成・公表と、理解の浸透への貢献
- ④ これらの調査を通じた啓蒙活動と、報告書・解説書による情報の提供

上記の活動の結果として、以下の報告書および解説書を作成した。

◆報告書：「スマートデバイスの急速な普及による中堅中小企業のITシステムへの影響に関する調査研究」と題し、

- ① スマートデバイスの導入状況と将来計画
- ② スマートデバイスの管理
- ③ スマートデバイスをシンクライアントとして利用する運用について
- ④ この時代にサポートサービスに求められるものは
- ⑤ セキュリティーの考え方について

の夫々の項目についてアンケートを基に分析、結果を報告書として纏めた。

◆解説書：「スマートデバイスに関する疑問 一挙解決」と題し

- ① スマートデバイスの種類と特徴
- ② スマートデバイス普及の背景
- ③ スマートデバイス導入に伴うセキュリティー対策
- ④ MDM
- ⑤ デスクトップ仮想化とスマートデバイスの活用
- ⑥ スマートデバイス導入による業務形態の変化と課題
- ⑦ BYOD導入の課題と対応策
- ⑧ 今後の発展の予測

について易しく解説した。

今年度もWebアンケート調査を取り入れたことから、600のサンプル数を

100%確保でき、母集団の性格を考慮に入れることで、分析そのものの信頼性も向上した。また、委員企業のお客様にもこれまでの母集団との連続性を維持するため、同様のWeb調査を依頼し、386社から回答を得た。さらに、アンケート配布から回収迄の期間も大幅に短縮された為、効率化も図れた。

委員会活動としては

サポートサービス委員会 4回

ワーキングチーム会議 12回

執筆会議 7回 を開催したほか、電子メールによる情報交換、原稿の推敲、を多用し、効率化を図った。

2. コンピュータシステム販売に関する人材育成（定款第4条第2号関係）

（他1）人材育成の推進（人材部会、人材育成委員会）

担当：人材部会（金成葉子部会長）、人材育成委員会（小川仁司委員長）

内容：経営者、管理職、中堅社員、新入社員、人事部門を対象としたセミナー、研修会を開催し、会員企業の人材育成に寄与するとともに、参加者間の情報交換と人的交流を目的として企画・実施した。

恒例事業となった新入社員セミナー（平成24年4月）、情報交換会（平成24年8月及び11月）、中堅社員研修（平成24年10月）、管理職研修（平成24年11月）と、いずれも参加者および会員企業に好評であった。

① 新入社員セミナー

開催日時：平成24年4月18日（水）14：00～16：30

場 所：文京シビック 大ホール

内 容：会員企業の新入社員（新卒、通年採用）向けに、業界を代表する企業の営業者、教育事業者の体験論に基づくアドバイスや、IT業界の将来などについて講演頂いた。アンケートの結果も非常に好評で、社会人、企業人としてスタートした新入社員にとり大いに参考になるものである。

開会挨拶 会長 大塚 裕司（株式会社大塚商会 代表取締役社長）

講演1 「コミュニケーションの重要性」

株式会社パンネーションズコンサルティンググループ

代表取締役 安田 正氏

講演2 IT業界の仕事ができる人の特徴

～変革期のIT業界で活躍し続けるために～

株式会社ソフトクリエイト

代表取締役社長 林 宗治 氏

対象者 : 平成24年度新入社員または平成23年度通年採用社員

参加者 : 25社495名

② トップ・エグゼクティブ・セミナー

開催日時 : 平成24年7月18日(水) 15:00～18:20

場 所 : ホテルメトロポリタンエドモント

内 容 : 開会挨拶

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会

会長 大塚 裕司(株式会社大塚商会 代表取締役社長)

講演1 「内外経済・金融の現状と展望」 15:00～16:00

～グローバル経済見極めのポイントを読む～

三菱東京UFJ銀行 企画部 経済調査室

次長 伊達 信夫氏

講演2 「スマートグリッドにおけるIT業界の戦略・貢献」

～インターネットとクラウドの影響～ 16:10～17:10

東京大学 大学院 情報理工学系研究科

教授 江崎 浩氏

セミナー終了後は参加者による交流会が行われた。

参加者 : 34名

③ 中堅社員研修

開催日時 : 平成24年10月17日(水) 10:00～17:30

場 所 : リコー東松山研修センター

内 容 : リコー・ヒューマン・クリエイツで事業化している研修を引き続き採用。

アメリカで研究が開始され、冒険教育⇒学校教育⇒企業研修・社会教育と、ニーズに応じた企画開発と改良が繰り返されて来た研修である。

概要は“心が動く・人が変わる”をテーマに、チームごとに誰もが不可能と感じる課題に取組、チームで知恵を出し助け合いながら行動を起こすことで、課題解決を図る体験学習型研修である。

対象者 : 中堅社員(リーダーとして活躍されている若手社員を含む)

参加者 : 6社20名

④ 提案力研修

開催日時：平成24年5月23日（水）9：00～18：00

24日（木）9：00～18：00

場 所：東京学院ビル2F 貸会議室

内 容：コンピュータシステム販売を手がける営業に必要な顧客提案力、営業力の研修である。日常の営業活動のプロセスに沿って、顧客と自分の関係、顧客企業と自社との関係を客観的に理解し、顧客視点での活動の真意を理解する。

参加者：11社25名

⑤ 情報交換会（アフアの森視察見学会）

開催日時：平成24年8月24日～平成24年8月25日

場 所：長野県信濃町

内 容：メンタルヘルス対策に有効とされる森林セラピーを視察した。委員および業務担当者を含む一行9名で、アフアの森、癒しの森の森林セラピーを体験し、その活用法を考察した。

参加者：5社9名

⑥ 人材育成セミナー（アフアの森説明会）

開催日時：平成24年11月7日（水）15：00～17：00

場 所：日本事務器株式会社会議室

内 容：アフアの森の森林セラピーについて、科学的な視点を含めて紹介する説明会を行った。

参加者：8社13名

⑦ 管理職研修

開催日時：平成24年11月21日（水）～22日（木）9：00～18：00

場 所：富士通パーソナルズ株式会社会議室

内 容：テーマとして、ファシリテーションを取り上げている。本研修は、会議を変える⇒組織を変える」をキーワードに、管理職を対象とし、会議やミーティングの場で自らがファシリテーターとなり、チームを束ねて場の活性化を図り生産性の高い会議を行うための基礎を習得する。

参加者：10社22名

(継2) ITサービスに関する地域IT事業者のスキル向上促進と新規会員獲得

(人材部会、コミュニティ委員会)

担当：人材部会（金成葉子部会長）、コミュニティ委員会（大三川彰彦委員長）

内容：会員企業および、非会員企業の地域販売店・IT事業者およびIT利用企業の横の情報交流・情報共有の場づくりを行うことにより、人材育成や事業、モデル契約事例・成功要因の共有を促進し、地域販売店の事業活性化・ITスキル向上・人材育成に貢献する。

さらに、これらの活動を通して地域販売店のニーズを吸い上げ、協会の各部会にフィードバックすると共に、フォローアップとしての協会への勧誘までを行う。平成24年度の活動は、下記のように、その目的を情報提供と会員獲得とし、オープンセミナーを実施し、3社の新会員の入会に繋がった。

①地域販売店・IT事業者に対する最新情報の提供と、新規会員の獲得を目的として、経営戦略オープンセミナーを開催した。セミナーの内容は下記の通り。

- ・「いますぐ始められるクラウド時代のITサービスはこれだ！」
～マルチデバイスを活用した新しいソリューション～
大手6社のキーパソンのプレゼンと質疑応答の場を提供した
- ・「復興に向けた第二の故郷「日本」へのメッセージ」
チベット出身の音楽家 バイマー・ヤンジン氏のプレゼン

50名定員のところ56名の申し込みがあった。広い会場の確保も出来た為、ゆったりとしかも活気のあるセミナーとなった。

②ダイバーシティ推進交流会については、具体的な活動は休止しているが、一昨年度作成した「ダイバーシティ推進度チェックシート」の利用の申し入れについては、引き続き出典を明記したうえでの利用を許可することになっている。

活動は以下の通り

- ①委員会事業目的・活動計画・名称について、メンバーで協議し計画を策定（4月～5月）
- ②地域販売店・IT事業者を対象として「経営戦略オープンセミナー」を企画し、委員会にて協議のうえ横浜での開催を決定。また集客力に影響を及ぼす講師についても、協議のうえ厳選した。（5月～8月）
- ③「経営戦略オープンセミナー」の企画立案・告知・集客（8月～11月）
- ④「経営戦略オープンセミナー」（横浜）開催。（11月）
- ⑤平成25年度事業計画策定（2月～3月）

3. コンピュータシステム販売に関する普及及び啓発（定款第4条第3号関係）

（公1）中小企業向け情報システムの取引・契約ガイドラインに関する普及啓発

（市場部会 取引・契約ガイドライン委員会）

担当：市場部会（大塚裕司部会長）、取引・契約ガイドライン委員会（安達美雄

委員長）

内容：情報システム取引者育成プログラムは、経済産業省の作成した取引契約ガイドラインに沿って、品質の高いシステムをトラブルなく開発するために、注意すべきポイントをベンダー会社の営業、開発、契約担当者などが受講、修得している。この事業は、コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）と共同して研修会と修了テストを実施し、すでに3年経過して、会員会社が順次受講している。今期は途中から研修講座の講義について、選定した専任の講師に依頼することとし、委員の負担を軽減している。

基礎講座は、定例を5回、会員会社への出張講座を3回実施した。また研修講座は、定例を4回実施し、うち2回を専任の講師に依頼した。

基礎講座の参加者は、定例講座40名、出張講座は、東京、大阪及び名古屋で実施し、131名の受講者があった。研修講座の参加者は、65名となり、うち53名が修了テストに合格して、取引者として認定された。

コンテンツWGの活動として、研修講座のテキストは、2年間の実績を検証し、受講者の理解を向上させるように内容をわかりやすく改訂し、冊子として印刷製本した。

また修了テストの設問について約100問増やし、講座内容のバージョンアップと合わせてより充実した内容にしている。

このプログラムはすでに3年が経過し、次年度からは3年前の合格者の更新がスタートするため、準備として、eラーニングを使用した更新システムの検討を開始した。

（継3）セミナー、シンポジウム、研修会の開催（トレンド部会 セミナー委員会）

担当：トレンド部会（林宗治部会長）、セミナー委員会（窪田大介委員長）

内容：以下のようにセミナーおよびフォーラムを企画し、実施した。

①日 時：平成24年 4月19日（木）午後4時～5時30分

場 所：リコージャパン株式会社 本社7F大会議室

内 容：「中国進出のリスクマネジメント」参加：31名

～中国でのビジネスに関する勘どころをお教えします～

講 師： コンサルビューション株式会社 代表取締役 高原 彦二郎氏

- ②日 時：平成24年 5月16日（水）午後4時～5時30分
場 所：シネックスインフォテック株式会社 本社セミナールーム
内 容：「ソーシャルメディア全盛時代に対応した営業手法の最新動向」27名
～スマートデバイス、ソーシャルメディアを顧客開拓にどう活用するか～
講 師：ナレッジネットワーク株式会社 代表取締役社長 森戸 裕一氏
- ③日 時：平成24年 6月7日（木）午後3時30分～4時30分
場 所：帝国ホテル 本館3階「富士の間」
内 容：「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」参加：284名
～日本のよいところを日本人が見直すべきとき～
講 師：慶應義塾大学講師 一般財団法人竹田研究財団理事長 竹田 恒泰氏
セミナー終了後は総会懇親会が行われ、新理事、新入会員の紹介が行われた。
- ④日 時：平成24年 7月11日（水） 午後4時～5時30分
場 所：リコージャパン株式会社 本社7F大会議室
内 容：「ICTを活用したスマートな都市の実現」参加：24名
～新しいビジネスモデルとビジネスチャンス～
講 師：日本アイ・ビー・エム株式会社 公共事業第三事業部
Smarter City 推進部 部長 加茂 義哉氏
- ⑤日 時：平成24年 9月12日（水） 午後4時～5時30分
場 所：株式会社大塚商会 本社2Fセミナールーム
内 容：「クラウドが商流とビジネスを変える！」参加：43名
～従来型のソフト開発・SIビジネスでは生き残れない～
講 師：株式会社船井総合研究所 チーフ経営コンサルタント 斉藤 芳宜氏
- ⑥日 時：平成24年10月11日（木）午後4時～5時30分
場 所：日本事務器株式会社 本社セミナールーム
内 容：「国内企業のIT投資動向と市場トレンド」参加：36名
～これからの顧客提案に必要なニーズ分析～
講 師：株式会社アイ・ティ・アール シニア・アナリスト 舘野 真人氏
- ⑦日 時：平成24年11月15日（木）午後3時30分～6時
場 所：株式会社大塚商会 3F大会議室
内 容：ITトレンドフォーラム
「企業におけるスマートデバイス導入の課題解決」参加：93名
～BYOD時代のリモートアクセスとマネジメント～

講師：日経コミュニケーション編集長 河井 保博氏
トレンドマイクロ株式会社 エンタープライズマーケティング部
マーケットデベロップメント課マネージャー 坂本 健太郎氏
シスコシステムズ合同会社
コラボレーション事業 エバンジェリスト 石原 洋介氏
フォーラム終了後は交流会が行われ、講師の方々にもご参加頂いた。

⑧日 時：平成24年12月 6日（木）午後4時～5時30分
場 所：株式会社リコージャパン 本社7F大会議室
内 容：「Windows8 とクラウドが実現する新しいワークスタイル」 74名
講 師：日本マイクロソフト株式会社 エバンジェリスト 西脇 資哲氏

⑨日 時：平成25年 1月22日（火）午後2時15分～3時20分
場 所：帝国ホテル 本館2階「孔雀東の間」
講 演：「女子バレーのオリンピックメダルに向けた情報戦略」参加：463名
～スポーツにITをいかに活用していくか～
講 師：女子バレーボール日本代表アナリスト 渡辺 啓太氏

新春7社プレゼンテーション：「平成25年わが社の製品・販売戦略」

講 師：（登壇順）

レノボ・ジャパン株式会社 代表取締役社長 渡辺 朱美氏

日本電気株式会社 執行役員常務 國尾 武光氏

日本ヒューレット・パカード株式会社 執行役員 第二営業本部

本部長 那須 一則氏

富士通株式会社 執行役員ユビキタスビジネス戦略本部長 兼

パーソナルビジネス本部長 齋藤 邦彰氏

株式会社日立製作所 執行役常務 情報・通信システム社

プラットフォーム部門 CEO 佐久間 嘉一郎氏

ソニーマーケティング株式会社 取締役 執行役員専務 鈴木 功二氏

株式会社東芝 執行役専務 デジタルプロダクツ&サービス社

社長 深串 方彦氏

セミナー終了後は、賀詞交歓会が行われ、新入会員の紹介が行われた。

⑩日 時：平成25年 2月14日（木）午後4時～5時30分
場 所：シネックスインフォテック株式会社 本社セミナールーム
内 容：「営業が変わる！動画を活用したソーシャル時代の
勝てるプロモーション戦略とは？」参加：32名
～営業三種の神器「SNS・タブレット・動画」を使いこなす営業が
生き残る～
講 師：ナレッジネットワーク株式会社 代表取締役社長 森戸 裕一氏

⑪日 時：平成25年3月13日（水）午後4時～5時30分
場 所：日本事務器株式会社 本社セミナールーム
内 容：「情報サービス産業の動向と経済産業省の情報施策について」35名
～高付加価値産業の創出に向けて～
講 師：経済産業省 情報処理振興課係長 松永 武志氏

4. コンピュータシステム販売に関する情報の収集及び提供（定款第4条第4号関係）

（他2-1）クラウドコンピューティングに関するビジネスモデルに関する調査
（トレンド部会 ITビジネスモデル委員会）
担当：トレンド部会（林宗治部会長）、ITビジネスモデル委員会（高瀬正一委員長）

内容：企業にとってめまぐるしく変化する環境のなかで、如何にビジネスを継続・発展させていくかは大きな命題である。本委員会では、日々変わっていく環境の中で、必要と思われるテーマを取り上げ、そのテーマが我々のビジネスにどう関わってくるのか、ビジネスをどう作り上げていったらいいか等について検討を行い、少しでもITビジネスの拡大のヒントになるべく、その検討結果を協会の内外で発表し、ビジネスの機会を増やすことに貢献していきたいと考えている。
平成24年度は前年度に引き続き、クラウドコンピューティングのビジネスモデルに関して、その成功事例をメーカーおよび販売店から紹介して貰い、それを「クラウドをビジネスにするためにーその2ー」という資料にまとめて公開した。

目次は ○事例研究

- ・株式会社BCN
- ・株式会社船井総合研究所
- ・日本マイクロソフト株式会社
- ・日本電気株式会社
- ・シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
- ・ソフトバンクBB株式会社

ワーキングチーム活動は6回、WT活動の報告やその方向性を指示する為の、IT
ビジネスモデル委員会は年2回開催した。

当初の目的である資料の公開は、協会ホームページに掲載した。

(他2-2) ネット販売に関する情報収集及び提供 (トレンド部会、ネット販売委員会)

担当：トレンド部会 (林宗治部会長)、ネット販売委員会 (林宗治委員長)

内容：以下のような検討会を実施した

①日 時：平成24年 7月 4日 (木) 午後4時～6時

内 容：スマホを活用したEC事例研究

B to B用の商品画像データベース共通化の研究

②日 時：平成24年 9月 7日 (金) 午後4時～6時

内 容：B to B用の商品画像データベースのアンケート分析

今後の進め方の検討

③日 時：平成24年12月19日 (木) 午後4時～6時

内 容：来期の事業計画の検討

B to B用の商品画像データベースの意見交換

(他2-3～5) 会報の発行及びホームページの活用 (総務部会 広報委員会)

担当：総務部会 (香月誠一部会長)、広報委員会 (鈴木範夫委員長)

内容：本年は、従来の活動に加えて、JCSSAの認知向上のためのマスコミへのPR
強化のための検討を行った。

①ホームページを活用したセミナーや研修案内、報告などの情報発信について、
よりわかりやすくレイアウトを変更し、またタイムリーにするため、イベントの
翌日には概要レポートをアップし、同時に写真を掲載できるように改良を行った。
また会報、メールマガジン、各種レポートなどへのアクセスがわかりやすいよう
に改良した。

②協会の情報媒体として、会報 (JCSSA NEWS) を4回発行した。

事業報告、セミナー・研修報告、運営に関する報告、経済産業省などの情報、
新入会員の紹介、業界の最新情報等を内容としている。

③各委員会、経済産業省、関連団体、賛助会員等からの情報を定期的に会員に
提供するため、毎月1回JCSSAメールマガジンを発信した。

④JCSSAのマスコミへのPR強化のため、当協会の情報発信方法について、
内容や方法の検討を行った。

5. コンピュータシステム販売に関する内外関係機関等との交流及び協力

(定款第4条第5号関係)

(他2-6) 国内関係機関等との交流及び協力 (総務部会、交流促進委員会)

担当：総務部会(香月誠一部会長)、交流促進委員会(大橋太郎委員長)

内容：交流促進セミナーの開催

①日 時：平成24年4月12日(火) 午後3時30分～5時30分

場 所：パナソニックESネットワークス株式会社 本社

内 容：「最新エコ&セキュアオフィス見学会」参加：14名

～エネルギーの見える化や省エネの工夫の最新動向～

講 師：パナソニックESネットワークス株式会社

マーケティングソリューションセンター 部長 松下 浩二氏

②日 時：平成24年10月23日(火) 午後3時～5時30分

場 所：大韓貿易投資振興公社 東京IT支援センター

内 容：「最新ネットワークセキュリティ講座」参加：15名

～先進の韓国企業の事例ご紹介～

「韓国におけるサイバー攻撃の動向(事例と対策)」

株式会社パイオリンク 日本支社長 朴昶昱氏

「マルチデバイス時代のコミュニケーションツールの動向」

ダウジャパン株式会社 取締役テクニカルディレクター 金暎俊氏

③日 時：平成24年 7月 6日(金) 18:30～21:30

場 所：秋葉原 UDXギャラリー・ネクスト

共 催：総務委員会、交流促進委員会、人材育成委員会、コミュニティ委員会

内 容：「JCSSA ワールドカフェ交流会」

～もっと出会える・もっとつながるスマートスタイルを語り合おう～

ワールドカフェ方式での会員会社社員同士の交流会：参加43名

(他 2 - 7) コンピュータシステム販売に関する海外情報の収集

(総務部会、総務委員会)

担当：総務部会（香月誠一部会長）、総務委員会（谷正行委員長）

内容：次の通り、会員会社が参加し、海外視察ツアーを行った。

① J C S S A エグゼクティブツアーとして、米国視察研修を行った。

期 間：平成 2 4 年 1 0 月 1 5 日（月）～ 2 0 日（土）

訪問先：サンフランシスコ・シリコンバレー地区

(AMD 社、マイクロソフト社、ヒューレット・パッカード社、VMウェア社、日立データシステムズ社、アドビシステムズ社、UCバークレー校)

参加者：会長・副会長を始め、正会員・賛助会員から 2 0 名が参加。

② 中国 I T 企業視察ツアーとして、大連市を視察した。

期 間：平成 2 4 年 7 月 1 9 日（木）～ 2 1 日（土）

訪問先：大連地区（Infodeliver 社、Neusoft 社、Yidatec 社、みずほ銀行）

参加者：会員 1 7 名、会員外 1 名が参加し、計 1 8 名が参加。

II. 総会、理事会、委員長会

1. 定時総会

(1) 日 時 平成24年6月7日(木)

(2) 場 所 帝国ホテル 本館3階 「扇の間」

(3) 議 題

第1号議案 平成23年度事業報告書の承認を求める件

第2号議案 平成23年度計算書類の承認を求める件

第3号議案 理事選任の承認を求める件

第4号議案 定款変更(案)の承認を求める件

報告事項

報告事項1 平成24年度事業計画書

報告事項2 平成24年度収支予算書

2. 理事会

平成24年度は4回の理事会を開催した。

(1) 4月理事会 4月25日(水) 文京シビックセンター 出席理事 24名

(2) 7月理事会 7月18日(水) ホテルメトロポリタンエドモント
出席理事 29名

(3) 10月理事会 10月10日(水) 中央大学駿河台記念館 出席理事 27名

(4) 1月理事会 1月22日(火) 帝国ホテル「菊の間」 出席理事 30名

3. 委員長会

平成24年度は4回の委員長会を開催した

(1) 5月委員長会 5月17日(木) 大塚商会 会議室 出席者数 13名

(2) 9月委員長会 9月11日(火) 大塚商会 会議室 出席者数 14名

(3) 12月委員長会 12月11日(火) 大塚商会 会議室 出席者数 15名

(4) 3月委員長会 3月14日(木) 大塚商会 会議室 出席者数 17名

Ⅲ. 会員の移動

1. 入 会

・正 会 員 (6社)

- 1 株式会社イグアス
- 2 スリープロ株式会社
- 3 株式会社ハイ・アベイラビリティ・システムズ
- 4 パラレルス株式会社
- 5 株式会社国和システム
- 6 ティー・ビー・ケーシステムズ株式会社

・賛助会員 (4社)

- 1 株式会社クレディセゾン
- 2 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
- 3 シスコシステムズ合同会社
- 4 株式会社セゾン情報システムズ

2. 退 会

・正 会 員 (3社)

- 1 アイビーシー株式会社
- 2 ユニファイジャパン株式会社
- 3 株式会社リザーブリンク

・賛助会員 (4社)

- 1 オンキョートレーディング株式会社
- 2 富士通コミュニケーションサービス株式会社
- 3 日本デジタルオフィス株式会社
- 4 株式会社アール・アイ

上記を含み、平成25年4月1日現在の会員数は次の通りである。

正会員数	90社	(昨年4月	87社)
賛助会員数	78社	(昨年4月	78社)
合 計	168社	(昨年4月	165社)